

各種大会報告

第71回全国高等学校ビジネス計算競技大会

青森県予選会

日時：令和6年6月1日(土)

会場：青森商業高校

【珠算の部】

- 団体 第一位 三沢商業高校
- 第二位 八戸商業高校
- 第三位 下山学園高校

●個人

- 第一位 三沢商業高校
- 第二位 三沢商業高校
- 第三位 三沢商業高校
- 第四位 三沢商業高校
- 第五位 八戸商業高校
- 第六位 三沢商業高校



- 野崎 ひらり
- 下田 稜馬
- 成田 優里
- 鎌本 咲紅
- 小笠原 胡春
- 太田 若那

【電卓の部】

- 団体 第一位 三沢商業高校
- 第二位 八戸商業高校
- 第三位 青森商業高校
- 第三位 七戸高校

●個人

- 第一位 三沢商業高校
- 第二位 三沢商業高校
- 第三位 三沢商業高校
- 第四位 八戸商業高校
- 第五位 八戸商業高校
- 第六位 三沢商業高校



- 大澤 千夢来
- 沼田 琉杏
- 上沢 春華
- 金澤 ゆりあ
- 高橋 ひより
- 吉田 大晟

青森県高等学校商業教育研究会

研究誌編纂委員会 発行

編集者 青森県立弘前実業高等学校

青森県立三沢商業高等学校

青森県立大湊高等学校

鈴木 瞳

佐藤 雅哉

向谷地 史拓

第36回全国高等学校情報処理競技大会青森県予選会

日時：令和6年6月8日(土)

会場：八戸商業高校

●団体

- 第一位 八戸商業高校
- 第二位 三沢商業高校
- 第三位 弘前実業高校

●個人

- 第一位 八戸商業高校
- 第二位 三沢商業高校
- 第三位 弘前実業高校
- 第四位 三沢商業高校
- 第五位 弘前実業高校
- 第六位 弘前実業高校



- 沼澤 獅音
- 松原 陸
- 小嶋 香
- 澤下 良
- 佐藤 侑也
- 工藤 樹

第7161回青森県高等学校ワープロ競技大会兼第71回全国高等学校ワープロ競技大会青森県予選会

日時：令和6年6月15日(土)

会場：三沢商業高校

●団体

- 第一位 三沢商業高校
- 第二位 八戸商業高校
- 第三位 青森商業高校

●個人

- 第一位 三沢商業高校
- 第二位 三沢商業高校
- 第三位 三沢商業高校
- 第四位 八戸商業高校
- 第五位 八戸商業高校
- 第六位 三沢商業高校



- 根岸 ななか
- 山上 いち花
- 瀧澤 悠仁
- 西村 悠宇
- 稲田 美花
- 殿村 悠花
- 瀧澤 悠仁

第40回全国高等学校簿記競技大会青森県予選会

日時：令和6年6月15日(土)

会場：弘前実業高校

●団体

- 第一位 三沢商業高校
- 第二位 弘前実業高校
- 第三位 八戸商業高校

●個人

- 第一位 三沢商業高校
- 第二位 三沢商業高校
- 第三位 三沢商業高校
- 第四位 弘前実業高校
- 第五位 三沢商業高校
- 第六位 弘前実業高校



- 吉田 優月
- 和田 愛結菜
- 内田 颯
- 川内 莉公
- 小川 航美
- 小嶋 村
- 木村 聡

全国大会への抱負

「ビジネス計算競技」

三沢商業高校

野崎 ひらり

私たち珠算部は7月30日に横浜武道館で行われる第71回全国高等学校ビジネス計算競技大会に出場します。珠算、電卓の両競技ともに全国優勝を目標とし毎日の練習に取り組みできました。私は昨年度の珠算の部団体第5位という悔しい思いを晴らすために、本番で緊張せずに実力を発揮することができるよう、メンバードで声を掛け合いながら練習を積み重ねていきます。今まで支えてくださった先生方や仲間への感謝の気持ちを忘れず、自分のベストが出せるように頑張ってきます。応援よろしくお願いたします。

【ビジネス計算競技】

八戸商業高校

上沢 春華

全国大会の目標は正答率100%です。2年間です。種目別競技の読上算では優勝を目指します。

昨年の全国大会では、優勝を逃してしまいました。今年が最後のチャンスなので、必ず優勝しようと思います。



【ワープロ競技】

三沢商業高校

瀧澤 悠仁

私たちがワープロ部は、団体で優勝、個人では4名が入賞しました。また、私は3度目の正確賞を取ることができました。全国予選に向けて日々の練習を重ね、努力を続けてきた成果だと感じています。同時にチームや自分の課題も見つけました。課題を解決して今よりレベルアップした状態で参加したいと思っています。

全国大会での活躍に期待!!

【情報処理競技】

八戸商業高校

沼澤 獅音

6月8日全国情報処理競技大会青森県予選会が八戸商業高校を会場に行われました。私たちは、青森県予選会での団体優勝を目指して、厳しい練習を行ってきました。その努力の末、団体優勝を勝ち取り、全国大会への切符を掴むことができました。しかし、内容を見てみれば圧倒的というものはなく、1位から3位までの点数の差はわずか数点でした。各校上位3人の団体メンバーのうち一人でも、問題を一つ落とすだけで順位が入れ替わってしまうような熱い接戦でした。私一人では到底勝ち取れないものをチーム一丸となり勝ち取ることができました。

三沢商業高校

松原 陸

私は、7月15日に千葉商科大学で行われる第36回全国高等学校情報処理競技大会へ出場していきます。予選の結果は、団体2位という悔しい結果でした。目標としていた団体優勝は惜しくもかきませんでした。チーム一丸となつて取り組み、選手同士競い合いながらスキルアップを図ってきました。個人では、全国大会の出場権を得ることができたので、当日は自分の実力を発揮し、上位入賞できるように勉強を頑張りたいと思います。応援よろしくをお願いします。

弘前実業高校

小嶋 凜香

私は、青森県予選会が終わってから、全国大会の過去問題を解いて、解説してもらいながら問題に慣れるようにしてきました。過去問題は、予選会の問題とは一味違い、さらに配点が厳しいことから、レベルの高さを感じています。また、問題の難しさに対して解答時間が短いため、効率よく問題を解く訓練が必要なのがわかりました。弘前実業高校、そして青森県の代表として練習よりも高い点数をとり、少しでも上の順位に入れるよう頑張ります。

【簿記競技】

三沢商業高校

吉田 優月

簿記部は7月24日に千葉商科大学で行われる第40回全国高等学校簿記競技大会に出場します。予選の結果では、団体・個人共に良い結果を残すことができたと思います。全国大会は、青森県代表として出場するため、予選の結果に満足せず、お互いに切磋琢磨しながら、練習に励みたいと思います。

弘前実業高校

小川 莉公

僕たちは7月24日に行われる全国高等学校簿記競技大会に参加します。惜しくも団体での出場とはなりませんでしたが、個人で2名が全国大会の切符を手に入れました。出場することができなかつた部員たちの思いを背負って、全国大会までの残りの日々の部活動に全力で取り組んでいくとともに、互いに切磋琢磨していきたいです。全国大会では上位入賞を目指して頑張るので、応援よろしくをお願いします。

各校での取組

青森商業高校

「グローバル人材育成事業」

6月5日（水）の課題研究において、士林高級商業職業学校と第1回オンライン協働学習を行いました。お互いに学校紹介を行い、それぞれの学校の歴史や特徴を知ることができました。また、グループごとの自己紹介の際には、本校生徒は英語で、士林高級商業職業学校の生徒は日本語で自己紹介を行いました。本校生徒は感動し良い刺激を受けました。大いに盛り上がった協働学習は、貴重な体験となりました。



下山学園高校

「鶴の舞橋春祭り」

鶴田町で開催された「鶴の舞橋春祭り」に本校生徒が参加させていただきました。出展ブースを設けていただき、昨年の課題研究にて生徒が商品開発した「スチュレット」「スチューベン・デ・シュー」「ピューレ」「Renごのストロー」を販売しました。校舎移転に伴い、鶴田町のイベントへの参加による地域貢献と、販売実習により実際にお客様と接することで、ビジネスマナーなど様々なことを学ぶ機会になりました。



弘前実業高校

「学科集会」

4月22日（月）学科集会を行い、商業の学びについて理解するとともに、他学年とのグループ活動を行いました。1、2年生はこれからどのように行動していく必要があるのかを聞くことができ、3年生は今までの学びについて下級生に伝えることで振り返りを行い、進路について考えを深めることができました。

三沢商業高校

簿記最先端教育「SAH」指定10年目

簿記の最先端教育を受けられる「SAH（スーパー・アカウンティング・ハイスクール）」に指定されてから、今年度で10年目を迎えました。県内唯一の指定校として、これまで公認会計士や税理士を目標とする生徒の夢を後押ししています。昨年度は4年連続日商簿記3級全員合格や日商簿記1級取得など、生徒の努力が結果に結びついたことを嬉しく思います。これからも生徒の「頑張りたい」を後押しできるように、商業科教員一丸となって取り組んでいきます。



八戸商業高校

「あおもり創造学」

本校は2学年課題研究の授業で「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラムに取り組んでいます。今年度は外部講師による講義等を年間7回予定しています。現在は八戸市役所、地元八戸市の起業家など多くの方々から業務内容や八戸で実際に取り組んでいることなどを聞き、各自が取り組むテーマ決めについて進めているところです。2月には校内でのパネルディスカッションも予定しており研究の成果を発表する機会を設けています。



「課題研究での取り組み」

地域資源や地域人材を活用した取り組みを行っており、今年度もすでに多くの企業や団体に御協力いただいています。写真（上段）は5月に弘前東栄ホテルの方へ、写真（右下）は同じく5月に青い森工房の方へインタビューを行っているものです。各班課題解決のために活発に活動しています。

